

# かわむら **こども** クリニック NEWS

Volume 8 No 11

88号

平成12年11月1日

発行 かわむらこどもクリニック 022-271-5255 HOMEPAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

## カルテの開示

院長

皆さんは、ディスクロージャーという言葉を知っていますか。もともとは企業活動の内容などを公開するという意味です。いわゆる情報公開という言葉が当てはまります。この情報公開は最近マスコミなどでよく取り上げられています。宮城県で食料費や出張費などで問題になり、皆さんも何度も耳にしたこともあるでしょう。

最近医療の分野で、様々なトラブルが起きています。患者さんを間違えて手術をした、点滴から別なものを注入した、薬を間違えて投与したなど挙げれば、きりがありません。医療事故が起きた場合には、必ずしも原因がすぐ家族などに伝えられず、マスコミなどの情報では秘密裏に処理されているような印象を持たれるかもしれません。確かにマスコミをにぎわす事件では、我々から見ても納得できないような場合もままあります。もちろんこの中には意図的な部分もありますが、やむを得ないこともあるかもしれません。同じ医療従事者としての立場からは、複雑な気持ちです。ここでいつも問題になるのが、情報開示です。

今までの慣習から医療の情報は、一般の人（患者）には届きにくいものです。症状や所見によってどのような診断がなされ、何という薬が処方されているかも知らない人はたくさんいます。しかし最近では処方箋の内容が明らかになったりと、比較的開かれてきていることも確かです。内容を知らなくても多くの患者さんは、かかりつけを信頼して医療を受けているのです。実際患者さんの何%が信頼しているのかは、正直言って自分にもわかりません。患者さんの心の奥にある不満や不信が、どの程度なのか判断することもなかなか難しいことです。前にも書きましたがインターネット医療相談の中には、他院で診療を受けている患者さんも疑問や不安を問い合わせています。

この不透明な医療に関しては医師会でも問題視をして、カルテの開示を認めるようになりました。カルテ開示も重要ですが、その前に考えなければならないことは、カルテ

は誰のものかということです。カルテには名前、住所、年齢や保険の種類など、事務的に必要なことがまず書かれています。他には既往歴や家族歴など、診断や治療に役立つような基礎的なことも記載されています。もちろん一般的なカルテの部分は、症状や経過、診察の所見、検査（種類と結果）、および治療（点滴の内容や種類、内服薬の種の種類や量）などがあります。この情報は患者さん自身の記録と考えることが、妥当なところでしょう。つまりカルテは患者さんのもので、医師が記載しクリニックで預かっていると考えています。となればカルテの開示ということは当然のことであり、患者さんに望まれれば断れないことなのです。しかし医師には患者の秘密を守る義務もあります。そのため求められれば、すべて開示といかないこともあります。たとえばガン告知で、カルテを見ればガンであるということは一目瞭然です。その事実を伝えることが妥当なのかを判断することも、医師の役目の一つなのです。幸い小児科の外来では、あまり問題になることはないでしょう。

当院でも患者さんから求められれば、いつでもカルテの開示をするつもりです。決して綺麗な字ではありませんが、カルテを見たいときは御遠慮なくどうぞ。しかし本当に大事なことはカルテ開示ではなくて、十分なコミュニケーションと信頼関係であることは言うまでもありません。この記事参考にして、カルテとは、情報開示について、考えてもらえればと思っています。



## 午後臨時休診のお知らせ

11月18日(土)は、小児科学会宮城地方会のため、午後休診となります。「インターネット医療相談から見えること」と題して、発表します。皆さんには御迷惑をおかけしますが、御理解の上御協力ください。

## 予防接種 のお知らせ

先月号でもお知らせしましたが、インフルエンザの予防接種開始しました。今年から13歳以上は1回または2回の接種になりました。昨年接種した方は原則として1回でかまいません。

接種年齢は生後6ヶ月以上としています。また13歳未満では、1～4週間の間隔で2回接種します。

接種料金(1回) 3000円+消費税

11月のお知らせ  
栄養育児相談  
毎週水曜日 13:30～  
栄養士担当 参加無料  
受付で、御予約ください。

## 読者の広場

今回もメールで頂いた投書を紹介しします。まず3年前に船橋に転勤した木内さんから、誕生日のお祝いを兼ねたメールです。“お誕生日おめでとうございます！！。お久しぶりです。お元気でお過ごしでしょうか。お陰様でわたしたちは元気です。子供達も少しずつ丈夫になったのか、ここのところは大きな病気もなく、病院ともご無沙汰の日々を過ごしています。アメリカに引っ越したばかりの大事な友人が2歳で網膜のガンにかかり、あっというまに左目を摘出するということが最近あって、無事を祈る日々が続きました。こういうことがあると、いつも思い出してしまうのは川村先生です。いつでもわたし達の話にきちんと耳を傾けて下さり、母親であるわたしを応援して下さいました。お医者様である川村先生と、こういう関係を築くことができ本当に幸せだったな、と思うのです。新聞等でも小児科医療の先行きを懸念する声が高まっていますが、誠実にわたしたちと向き合って下さる川村先生のような方がいるということ、いろんな人にも知ってほしいですし、本当に信頼できる先生がいると、不思議ですが離れていても心強く思うことができるということにいつも感謝しています。これからもご自愛なさって、たくさんの母親のよき話し相手であってほしいと思います。秋ですね！。仙台を懐かしんで、さんま尽くしの日々です。いも煮会もしなくっちゃ！。でも、仙台に帰る日は遠のいていきそうです。幕張から品川に転勤になりました。2年で帰って言ったのに！”。ありがとうございます。遠くに行っても忘れられない、そんな医療をこれからも目指していきたいと思ひます。それともう一つ、以前当院の事務スタッフの宮腰君からもメールを頂きました。“いつも大変お世話になってます。宮腰 千郷の「はは」です。初めてのメールでちょっと緊張してます。いつも、「まず、先生に送らなくちゃ！」と思いつつ、月日は流れてしまいました。この頃はパソコンにも触れられず、やり方さえ忘れてしまうところでした。パソコンを開くとうちのおぼっちゃまが興味津々で近寄ってきて、キーボードを押してしまうので、(もちろん、変にされた時の操作なんてわかるはずないし)やはり「ちち」がいる時にしか、できないものでした。あと、ちょっと遅れてしまいましたがお誕生日おめでとうございます。先生も確か「うさぎ年」でしたよね。そう考えると、びっくりしてしまいました。先生は開院当時のままというか、私がお世話になってた時のすべてにつけて若い先生って感じなんです。でも、現実には現実ということでお体には十分、気をつけて下さい。本当に先生のファンは多いんですよ！私の友達にも「隠れファン」も数多くいますし。今年はインフルエンザ、流行るのでしょうか？流行らないことを祈りつつ、そしてかからないことを祈っております。スタッフの皆様にも心と体、十分に休息をとって下さいませとお伝え下さい。これからが本番だと思ひますので。それでは・・・”。遠くに行った患者さんだけでなく、辞めたスタッフにも忘れられない、そんなクリニックも目指していきたいと思ひます。



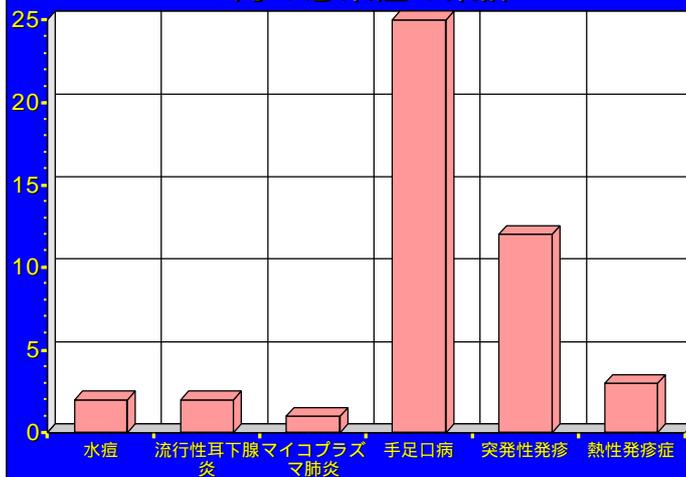
### スカパー放映の御案内

チャイルドヘルス-(診断と治療社)11月号の特集「インターネットと医療相談」を執筆しました。この内容が、スカパーフェクトTV762ch KTC GROWTHの番組「チャイルドヘルス」で放映されます。放送予定は次の通りです。当院でもいずれビデオ放映予定です。乞う御期待。

11/1(水)9:30、4(土)11:00、5(日)8:00、7(火)13:30、11(土)9:00、12(日)10:00、14(火)13:30、18(土)11:00、19(日)8:00、21(火)13:30、25(土)9:00、26(日)10:00、28(火)13:30

i-MODEで、小児科ミニ知識が?!。当院HOMEPAGEの「小児科ミニ知識」が、携帯でも見られるようになりました。<http://www.kodomo-clinic/imode/iwill.html>です。読みにくいかも知れませんが、雰囲気は味わえると思ひます。パソコンをお持ちでない方は、一度見てください。

### 10月の感染症の集計



手足口病は相変わらず流行しています。しかし発熱も少なく、重症な感じはありません。それ以外の感染症で目立つものはありません。季節柄咳が長く続く喘息に似たような風邪はありますが、マイコプラズマ肺炎ではなさそうです。

### 雑誌掲載の紹介

(株)オデッセウス11月20日発行の「困ったときにママのための情報源 厳選ホームページ300」に掲載されました。“小児科のホームページ”のトップに「情報量はトップクラス」と評価されています。かなりジャンルも広く子育てに役立つサイト紹介本の一つです。他に週間アスキー6,21号、すてきな奥さん8月号、Dreamcastのインターネットスターキットの小冊子にも掲載されました。

### 編集後記

2ヶ月連続難しい記事になりました。目的は内容の理解ということはもちろんですが、言葉を知ることでも大切です。たまには院内報を読んで、秋の夜長(もうすぐ冬ですか?)勉強する習慣をつけましょう。

